

算数授業のめあてとポイント

令和8年12月号

啓林館対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、

児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図れるようにしましょう。

※「単元のめあて」枠内の漢字に、ルビを振っている箇所があります。ひらがなと漢字の どちらを使うかは、

学習進度などを勘案して 指導者で判断して下さい。

(K…啓林館, G…学校図書, T…東京書籍)

学 年	単 元	単元のめあて と 授業のポイント
1 年	2巻⑩ 0の たしざん ひきざん 同様単元 G5月④6月⑤ T5月③6月④	◎ 単元のめあて(板書例) 0をつかった たしざん・ひきざんをして、0のひみつをみつけて、はなそう。 ◎ 授業のポイント 足しても引いても結果が変わらない数として、また、物を取っていった「空(から)」になった状態を表す数として 0が捉えられる、ゲーム等の数学的活動を工夫する。
	2巻⑪ ものと ひとの かず 同様単元 G2月⑪ T2月⑪	◎ 単元のめあて(板書例) なん人(まい)や なんばんめの もとめかたを かんがえて、はなそう。 ◎ 授業のポイント - 文章の問題について、物に人を対応させて図示するなどの 数学的活動を通して、和と差や順番をイメージして 計算の仕方が考えられるようにする。 - 子どもの主体的な学びができるように、以下の算数教育情報を参照する。 【HP算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】
2 年	下巻⑫	11月号参照
	下巻 見方・考 え方を ふかめよ う(3) 同様単元 G2月⑨	◎ 単元のめあて(板書例) 数のちがいが かいてあるときの、わかっていない数の もとめ方を考えて、せつめいしよう。 ◎ 授業のポイント 2年上の「見方・考え方をふかめよう(1)」と同様に、逆思考の問題である。基にする数が捉えにくいので、2年で最も理解困難な単元である。以下の算数教育情報を参照して、児童が主体的に学べるようにしたい。 【HP算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」(解決の道筋、図のかき方と式、準備のステップ)参照】
	下巻 どんな 計算に なるのか な	◎ 単元のめあて(板書例) どんな計算になるのか わけをを考えて、せつめいしよう。 ◎ 授業のポイント 問題文の意味を 文章の区切りごとに読み取り、図や線を用いて そのわけが説明できるようにする。学習指導要領で重視される 説明力を高める単元である。 【HP算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】
3 年	下巻⑬	・11月号参照
	下巻 間の数 同様単元 T3月 考える力〜	◎ 単元のめあて(板書例) 間の数や ぜんぶの長さの もとめ方を考えて、せつ明しよう。 ◎ 授業のポイント - 問題文の意味を 文章の区切りごとに読み取り、図を用いて解決できるようにする。学習指導要領で重視されている 活用力や説明力を高める単元である。 - 子どもの主体的な学びができるように、以下の算数教育情報を参照する。 【HP算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】

4 年	下巻⑫	・ 11 月号参照
	どんな計算になるのかな だれでしょう	◎ 授業のポイント ・ 問題文の意味を 文章の区切りごとに読み取り，表を用いて解決できるようにする。学習指導要領で重視されている 活用力や説明力を高める単元である。 【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】
5 年	⑬	・ 11 月号参照
	人文字	◎ 授業のポイント ・ 人文字による植木算の問題である。並んだ人の数と間の数の関係を 図に着目して考えるようにする。 【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】
	見積もりを使って	◎ 授業のポイント ・ ある数量以上の部分とそれ以下の部分を 差し引いたり切り上げや切り捨てを使ったりして，結果が見積もれるようにする。
6 年	見方・考え方を深めよう (2)	◎ 授業のポイント ・ 問題文の意味を 文章の区切りごとに読み取り，表を用いて解決できるようにする。学習指導要領で重視されている 活用力や説明力を高める単元である。 【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋」参照】
	見積もりを使って	◎ 授業のポイント ・ 切り上げや切り捨てを使って，結果を見積もったり簡単に計算したり できるようにする。
	わくわくプログラミング	◎ 授業のポイント ・ 変数の演算子と整除の条件判定の命令を 組み合わせて，ある数の倍数を見つけるプログラムが作れるようにする。

<お知らせと お願い>

「算数教育ネットワーク岡山」でHPを検索して，毎月の「算数授業のめあてとポイント」や

「算数教育情報コーナー」等をご覧ください，日々の実践に役立ててください。

なお，これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は，

seiden_atmark_po.harenet.ne.jp までMail でお知らせ下さい。（_atmark_を@に直して下さい。）